

各位

2003年7月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 取締役社長 鈴木弘治  
 コード番号 8233

## 2003年6月度 高島屋営業報告

### 主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	1.4	2.2	±0日
横浜店	4.8	2.9	±0日
新宿店	4.3	3.3	±0日
関東9店計	2.8	0.6	
大阪店	5.5	2.4	±0日
京都店	1.2	2.7	±0日
関西9店計	4.1	1.3	
全店計	0.1	0.9	
法人事業	0.3		
通信販売事業	18.9		
広域事業(店外)計	9.3		
合計	0.6		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。  
 関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台  
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子  
 大阪店売上には和歌山店・堺店を、京都店には洛西店を、横浜店には港南台店をそれぞれ含めています。

### 商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	1.5
婦人服・洋品	0.6
子供服・洋品	2.0
その他の衣料品	3.9
衣料品計	0.5
身の回り品	4.1
家具	12.8
家電	0.3
その他の家庭用品	1.2
家庭用品計	4.7
食料品	0.7
食堂・喫茶	1.1
雑貨	4.7
サービス	2.5
その他	9.2
合計	0.6

### 概況

百貨店事業	土曜日が前年比1日減だったにもかかわらず、お中元の送料無料化(500品目)実施により好調だった関東各店が牽引。昨年開催のワールドカップの反動もあり全店計で店頭売上前年比+0.1%と4ヶ月ぶりに前年実績を上回った。店舗別では、横浜店・新宿店・玉川店(+5.9%)・大宮店(+4.0%)・立川店(+3.1%)・柏店(+1.1%)が善戦。一方、天候不順等の影響により関西各店は苦戦した。商品別では特選衣料雑貨(+12.3%)が引き続き好調。季節商材に動きがあった婦人雑貨(+0.4%)、紳士服(+0.2%)、食料品(+1.1%)が前年実績を上回ったが、主力の婦人服(1.7%)、子供服・ベビー(2.4%)等は月末の土日の伸びが弱かった。
広域事業	法人事業は受注物件の規模の拡大により前年実績を上回った。また、通信販売事業はカタログ「夏号」の婦人服、リビング用品他が不振で前年実績を下回った。

以上